

「農村景観を守り育てるためのスキルアップ技術検討会」

主催：農林水産省、(社)農村環境整備センター

本技術検討会では現場で撮影した映像素材を活用し、実際に現地で景観を眺めているような状況のもと、具体的な景観の捉え方などの解説を行います。

映像素材を用いて、景観配慮の基本である景観の眺め方や現場での着目点、より詳細な配慮のポイントを分かりやすく解説します。

1. 開催日時：平成23年2月9日（水）11：00～17：30【10：30 受付開始】
2. 開催場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（センター棟3階311号室）
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号
ホームページアドレス <http://nyc.niye.go.jp/>
TEL 03（3469）2525
3. 対象者：地方農政局、都道府県、市町村、土地改良事業団体連合会、土地改良区、民間技術者、NPO関係者、農地・水・環境保全向上活動関係者など
4. 定員：100名（定員になり次第、締め切りとさせていただきます）
5. 目的：農村景観は、そこに住む人々の農を中心とした長年の営みを通じて形成されたものですが、人口減少、耕作放棄、施設管理の粗放化等、さまざまな理由によってその美しさを永続的に保全していくことが困難になっています。
これまで土地改良事業においても環境との調和への配慮を原則とし、農村景観の配慮・形成に取り組んできたところですが、生態系配慮と比較するとその取組事例は少ない状況となっています。
本検討会では、農村景観の保全・創造への取組の第1歩として、農村景観のどこに着目すべきか、どのような技術が適用可能かなどについて、映像資料も活用しながらスキルアップを図っていただき、地域での景観配慮技術のレベルアップを目指します。
6. 内容：裏面をご参照下さい。
7. 申し込み：参加費無料（旅費交通費は各自ご負担願います。）

参加希望者は、所属と氏名、メールアドレスをご記入の上、メールまたはFAXにて下記までお申し込み下さい。

【締め切り：平成23年1月31日（月）】

(社)農村環境整備センター

研究第1部 美の里づくりグループ 富田、北澤

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-4 農業土木会館1階

ホームページアドレス <http://www.acres.or.jp>

メール d-kitazawa@acres.jp

TEL 03（5425）2461 FAX：03（5425）2466

－ カリキュラム －

日時：平成23年2月9日（水）11:00～17:30【10:30受付開始】

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（センター棟3階311号室）

交通：参宮橋駅（新宿駅から小田急線各駅停車で2駅目）から徒歩7分

時刻	所要時間	種類	タイトル、講演者等
11:00～ 11:10	10	挨拶	農林水産省農村振興局（予定）
第1部 景観づくりの基礎を学ぼう			
11:10～ 11:30	20	講義1	「農村景観の考え方」
11:30～ 11:50	20	講義2	「デザインコードの考え方」
11:50～ 12:10	20	講義3	「デザインコードの探し方」
12:10～ 13:10	60		昼食休憩
第2部 景観技術をスキルアップしよう			
13:10～ 13:25	15	講義4	「実習の仕方の説明」
13:25～ 13:40	15	講義5	「実習モデル地区の概要説明」
13:40～ 15:30	110	実習1	「景観を探索しよう」
15:30～ 15:40	10		休憩
15:40～ 16:20	40	実習2	「デザインコードを読み解こう」
16:20～ 17:05	45	実習3	「テストをしてみよう」
17:05～ 17:25	20	意見交換	「農村景観の保全に必要な技術への期待（仮題）」 参加者と講師陣との意見交換
17:25～ 17:30	5	挨拶	社団法人 農村環境整備センター

研修講師

藤本 信義 宇都宮大学 名誉教授

山本 徳司 農村工学研究所 室長

重岡 徹 農村工学研究所 主任研究員

北澤 大佑 （社）農村環境整備センター

※ 都合により講師、講演内容が変更となる場合があります。

※ 本検討会は、農業土木技術者継続教育機構の継続教育（CPD）プログラム認定申請中です。
(6単位)